

### 皆生温泉再生及び活性化のための産官金連携協定の締結について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)、鳥取県米子市(以下「米子市」という。)、皆生温泉旅館組合、皆生温泉観光株式会社(以下「皆生温泉観光」という。)、株式会社鳥取銀行(以下「鳥取銀行」という。)、米子信用金庫(以下「米子信金」という。)、株式会社山陰合同銀行(以下「山陰合同銀行」という。)、株式会社商工組合中央金庫(以下「商工組合中央金庫」という。))の8者で、「皆生温泉再生及び活性化のための産官金連携協定」(以下「本協定」という。)を締結しましたので、お知らせいたします。

8者は本協定に基づき、皆生温泉全体の再生・活性化のテーマを「持続可能な温泉地づくり」に設定し、皆生温泉の再生・活性化における地域課題解決に向け、協働で施策の推進を行います。

#### 【本協定の背景・概要】

皆生温泉は、最盛期には約74万人の宿泊客数を誇りましたが、宴会需要を中心とした団体旅行から個人旅行への全国的な旅行形態の変化の中、少子高齢化も相まって近年では約40万人にまで減少しています。

皆生温泉の再生・活性化のためには、①老朽化の進む施設・設備の更新、②景観整備、③温泉地全体の集客力の向上、④温泉地全体のコスト削減、⑤人手不足問題への対応、⑥円滑な事業承継、が求められています。

これまで、地域の各主体がそれぞれ、または一部連携の中、様々な形で皆生温泉活性化に取り組んできましたが、より一段と踏み込んだ産官金連携協定の下で、各主体が一体となって、加速度的に活性化に向けて取り組むことが有効との結論に至り、今次連携協定締結の動きとなりました。

今後は、上記の6つの課題に対し、8者の連携・協力の下に個別施策を推進いたします。

以上

#### 【皆生温泉今昔】



大正10年当時の皆生温泉



美保湾から大山を望む



皆生温泉海水浴場

## 【連携協定の概要】



＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>  
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
 代表：TEL 03-6266-0304／03-6266-0310